

(再評価)

資料2-2(1)

確認結果

## 河川事業

再評価原案準備書説明資料(案)

天塩川直轄河川改修事業

令和3年度  
北海道開発局

確認後：1,399億円

### ◇天塩川直轄河川改修事業の総便益

- ⑤便益（洪水被害） 1,400億円 --治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化
- ⑥便益（残存価値） 28億円 --治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化

⑦総便益【B】 1,428億円（現在価値化） --⑦=⑤+⑥

#### 事業全体

◆費用便益費（B/C） 1,428億円 / 1,212億円 = 1.2

◆純現在価値（B-C） 1,428億円 - 1,212億円 = 216億円

◆経済的内部収益率（EIRR） 4.7%

※算出条件 整備期間：平成19年度～令和18年度（30年間） 評価対象期間：平成19年度～令和68年度（整備期間+50年間）

確認後：1,427億円

確認後：215億円

#### 残事業

◆費用便益費（B/C） 847億円 / 231億円 = 3.7

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和18年度（15年間） 評価対象期間：令和4年度～令和68年度（整備期間+50年間）

#### 当面整備

◆費用便益費（B/C） 273億円 / 75億円 = 3.6

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和7年度（4年間） 評価対象期間：令和4年度～令和57年度（整備期間+50年間）

#### 感度分析

◆事業費 (+10%～-10%)

◆工期 (+10%～-10%)

◆資産 (-10%～+10%)

#### 残事業のB/C

(3.3～4.1)

(3.6～3.7)

(3.3～4.0)

#### 事業全体のB/C

(1.2～1.2)

(1.2～1.2)

(1.1～1.3)

※B/C算定に用いている総費用及び総便益については、消費税相当額を控除しています。